

様式 C - 7 - 1

平成24年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号

1	4	6	0	3
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 奈良先端科学技術大学院大学
3. 研究種目名 新学術領域研究（研究領域提案型） 4. 補助事業期間 平成23年度～平成27年度

5. 課題番号

2	3	1	1	3	0	0	1
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題 ゲノム・遺伝子相関：新しい遺伝学分野の創成

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
7 0 2 7 3 8 3 6	タカヤマ セイジ 高山 誠司	バイオサイエンス研究科	教授

8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
6 0 3 4 2 6 3 0	キノシタ テツ 木下 哲	バイオサイエンス研究科	研究チーム長
1 0 3 1 4 4 4 4	スズキ ゴウ 鈴木 剛	大阪教育大学・教育学部	准教授
9 0 3 7 0 1 2 1	タカハシ アヤ 高橋 文	首都大学東京・理工学研究科	准教授
0 0 2 7 0 9 9 2	マツオカ マコト 松岡 信	名古屋大学・生物機能開発利用研究センター	教授
8 0 3 4 6 1 0 5	キタノ ジュン 北野 潤	国立遺伝学研究所・新分野創造センター	特任准教授

9. 研究実績の概要

本新学術領域研究「ゲノム・遺伝子相関」の総括班では、研究全体を統括し、班員相互の密接な連携を図り、国内外の動向を調査しつつ、適切な助言を行うことによって本領域を円滑に推進・運営することを目的としている。発足2年目の平成24年度は、昨年度の8計画班に加え、新たに22の公募班が加わる形で本格始動を迎えた。領域班会議を平成24年6月25-26日の2日間の日程でメルパルク京都において開催した。領域内の研究者学生を含め80名以上の参加があり、本領域計画班員による講演とそれに対する活発な議論が行われた。本領域の目標である、新しい遺伝学分野としてのゲノム・遺伝子相関を今後どのように切り開いていくのか、また共同研究をどのように展開するのか、研究者間の議論を積極的に進める機会を得た。同時に、総括班会議を開催し、研究評価者を交えて新学術領域への基本運営方針に関する意見交換を行った。また、本年度は、10月31日から11月2日にかけてエグジシブ琵琶湖にて若手の会を開催した。領域内の若手研究者、学生を中心に80名超の参加者があり、夜を徹した議論が行われた。領域の活動や研究成果は、設置したホームページを利用してシンポジウムの案内、研究成果の公表、アウトリーチ活動を含めた情報を写真画像とともに随時発信した。アウトリーチ活動は、小学校、高校、SSHを中心に多数の出前授業等を行った。ニュースレターに関しても、第3号および第4号を発行した。シンポジウムの講演要旨を掲載し、多くの学術分野にまたがる本領域内外の相互情報収集を促し、各班員の研究のさらなる発展の一助となるようにした。

10. キーワード

(1) 総括班	(2) ゲノム遺伝子相関	(3) 遺伝学	(4) ゲノム
(5) 遺伝子	(6) 進化	(7)	(8)

11. 現在までの達成度

(区分)(1) 当初の計画以上に進展している。

(理由)

領域代表並びに総括班メンバーが主導する形で、内容の濃い班会議、各種シンポジウムを開催し、相互理解の促進と異分野交流の促進を図った。さらに、ニュースレターに加え、領域ホームページを積極的に利用し、領域の研究成果をリアルタイムで伝える情報発信型の運営体制をとった。また、各研究班の研究を実際に推進している若手研究者や大学院生を中心とする若手の会を開催し、夜を徹してお互いの研究について語り合う機会を設け、研究者の育成と交流促進を図った。本年度は、本領域研究の成果として、計画班員ならびに公募班員からの多数の論文出版がなされた。また、共同研究に関しても、多くが議論され複数の新たなスタートが切られた。

12. 今後の研究の推進方策

(今後の推進方策)

今後の総括班の活動に関しては、従来どおり綿密に協議を重ねながら方針を策定していくことに変わりはない。平成25年度は、特に領域内の共同研究のさらなる促進と成果の取りまとめを強化する。特に各研究者が進めている多様な個々の研究について、理論レベル、分子機構レベル、研究手法レベルなど様々なレベルでの摺り合わせを行い、共同研究の推進と個々の研究の深化を目指す。

13.研究発表(平成24年度の研究成果)

(雑誌論文) 計(0)件 うち査読付論文 計(0)件

著者名		論文標題			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子)					

(学会発表) 計(0)件 うち招待講演 計(0)件

発表者名		発表標題	
学会等名	発表年月日	発表場所	

(図書) 計(0)件

著者名		出版社		
書名			発行年	総ページ数

14.研究成果による産業財産権の出願・取得状況

(出願) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

(取得) 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				出願年月日	

15.備考

ゲノム・遺伝子相関—新しい遺伝学分野の創成—
<http://www.ige.tohoku.ac.jp/prg/genetics/>